

もなみっこ

北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 学校だより

令和7年12月24日発行 第3号

「第2学期を振り返って」

教頭 三坂佳慎

8月22日から始まった第2学期が、本日をもって終了します。保護者の皆様、もなみ学園職員の皆様、地域の方々におかれましては、日頃より本校の教育活動の推進について、ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、第2学期に入り、伏見本校から小学部第5学年に転入生がありました。転入後すぐの9月4日、5日には宿泊研修があり、慣れない環境での参加となりましたが、同学年の友達とすぐに打ち解け、仲良く過ごしていました。札幌市青少年科学館での展示体験や青少年会館Compassでのプール、さっぽろテレビ塔での見学などを通して、様々な場所で楽しく活動したり、友達に合わせて行動したりすることができました。

10月9日、10日には、中学部第2学年の宿泊研修がありました。シャトレゼガトーキングダム サッポロホテル&スパリゾートに宿泊し、プールでの活動やバイキングの食事、2日目には札幌市下水道科学館の見学をしました。普段の学習では経験できないことを体験したり、自分の役割や目標を達成するために取り組んだり、たくさんの思い出ができました。

また、今年度から小・中学部と高等部で別日での開催とした学校祭ですが、11月8日に予定していた小学部の学習発表会と中学部の学校祭は、予想外の大雪のため、残念ながら延期としました。小学部は平日開催の14日を延期日としました。文字の組合せや平均台渡り、楽器の演奏や長縄跳びなど、それぞれの児童が学習で取り組んできたことを発表することができました。中学部も平日開催で28日に延期しました。歌やダンス、器楽演奏など、それぞれの得意なことを生かしながらも、学部全体でまとまりのある発表を観ることができました。

15日に開催した高等部の製品販売会では、各作業班で作製したものを商品として販売しました。定番の製品だけでなく、クリスマスの時期に合わせた製品もあり、お客さんは気に入った商品を手に取ってじっくりと見ていました。保護者やもなみ学園の皆様、地域の方々には、子どもたちの発表の参観、商品の購入など、温かく見守っていただき、ありがとうございました。

P T Aの活動としては、11月18日に2回目のP T A学習会が行われました。8名の保護者が参加してくださり、「困り感を抱えるお子さんの災害へのそなえ」と題して講演をいただきました。災害時の避難や避難所での過ごし方、事前に準備しておくものや心構えなどについて学習することができました。

第3学期に入ると、いよいよ高等部校舎の増築や旧もなみ学園棟の改修等が始まります。まだ具体的な工事日程は決まっていますが、教育環境への影響は少なからずありますので、十分配慮して進めていきたいと考えております。ご迷惑をお掛けすることと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

冬休みが終わると、「あっという間」の第3学期になります。今後とも、保護者やもなみ学園の皆様、地域の方々のご理解とご協力をいただきながら教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「中学部の学習について」

中学部主事 齊下 智大

本年度、中学部は 13 名の生徒でスタートし、現在、12 名の生徒と教員 8 名で日々の学習活動を進めています。生徒たちは、それぞれの個性を輝かせながら、意欲的に学習に取り組んでおります。

1 学期、記録会では、ボール投げ、高跳び、50 メートル走などに取り組み、日頃の体育学習の成果を保護者の皆様の前で立派に発揮することができました。

3 年生の見学旅行は、ルスツ・登別方面にて 2 泊 3 日を満喫することができました。たくさんの思い出と体験を持ち帰ることができました。

2 年生は宿泊研修で、札幌市内で宿泊体験をし、マナーを守りながら活動できました。

遠足や、仲間とともに協力して取り組む学校祭などの行事を実施しました。学校祭は、積雪の影響で延期となりましたが、生徒たちは気持ちを切り替えて準備を進め、延期後も集中力を切らさずに、立派に活動をやり遂げました。この経験は、貴重な機会となりました。

現在、3 年生は 1 月の受検へ向けて、進路学習に取り組んでおり、卒業後の生活を見据えた学習を進めています。

残すところ 3 学期のみとなります。これまでの学習や行事で積み上げてきた経験を土台に、さらなる学びと成長の機会を創造してまいります。卒業、進級に向けて、一人ひとりの生徒が将来に繋がる「たくさんの経験」を積み上げることができるよう、教職員一同、学習指導を進めてまいりたいと考えております。

引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



『ICT 教育の推進について』

情報教育部長 濱 健人

近年、教育現場では ICT 教育が進められています。ICT 教育とは、パソコン、スマホ、タブレットなど、デジタルデバイスを使った教育を指します。

生活や社会がデジタル化してきて、子どもの頃からアプリ・ソフトに触れることや、簡単にいろいろな情報を取り入れることができるようになりました。

本校では、子どもたちの実態に合わせながら ICT 教育を進めています。基本的に iPad を使用し、アプリやソフトを使った学習を進めたり、検索エンジンを活用して調べ学習をしたりしています。画面に表示されるたくさんの情報の中から、使用するアプリや、検索する内容を選択していくには、それなりの知識や経験が必要になります。ICT 教育の中で子どもがインターネットとの適切な関わりを見つけていけるよう学習を進めていきます。

冬休みの生活について

冬休みを元気に楽しく過ごすため、気をつけてほしいことを4つあげました。

1. 交通安全に気をつけましょう。

お出かけの機会が増えると思います。横断歩道を渡るときには、しっかり信号や左右を確認してから渡りましょう。車は急に止まれません。

2. 規則正しい生活をしましょう。

生活リズムを崩さないように、休み中も早寝早起きを心がけましょう。食べ過ぎや飲み過ぎにも注意しましょう。

3. 寒さに負けず、たくさん体を動かしましょう。

時には外に出て元気に体を動かすことで気持ちもリフレッシュされます。外から帰ってきたときは、手洗い、うがいを忘れずに！

4. 進んでお手伝いしましょう。


冬休みは気持ちよく新年を迎えるための準備や大掃除があります。使った場所の片付けや、身の回りをきれいにしよう心がけましょう。

子ども相談支援センター

相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

 0120-3882-56

(無料、毎日 24 時間対応)

●メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目

(土日・祝日、年末年始はお休みです)

※上記の電話番号まで予約

★冬休みにしかできない体験があります。楽しい冬休みをお過ごしください。

冬季休業期間における「学校閉庁日」の設定について

北海道教育委員会では、学校における働き方改革の取組の一つとして、教職員が休養を取りやすい環境を整備し、心身の健康を保持することを目的に、平成30年度から「学校閉庁日」の取組を全ての学校で実施しています。

本校においても、冬季休業期間における学校閉庁日を次のとおり設定することとしましたので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、学校閉庁日には基本的に職員が不在となるため、学校への連絡等はこの期間外にお問合せください。

学校閉庁日：令和7年12月29日(月)～令和8年1月3日(土)

長期休業中における緊急時の連絡について

もし、冬季休業中に事故に遭ったり、病気になったりするなど、緊急なことがあった場合には、下記のQRコードを読み取るか、URLをクリックして連絡してください。三坂教頭にメールが転送されます。

こんなときはご連絡ください

事故に
遭った

病気にな
った

行方不明に
なった



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScPKexPqn-XVap4HD_XMaOW-i-rKluL6SLsivHLbCt4lu_vA/viewform?pli=1